**osdespr( )でプロセスが終了しない件について**

TBCS００８１の試験中に発生した、osdespr( )でプロセスが終了しない件について、再現試験を実施しました。解析結果を以下に記す

[ 再現試験の手順 ]

1. tstart sysでmoaを発行する
2. ダミプロセスでoswrite1を発行する

※プロセスがダンマリになる

1. 上記2.のプロセスを強制終了させるためにダミプロセスでosdesprを発行する

[　解析結果　]

1. oswrite1を発行してダンマリなったプロセス：

バックトレースによりoswrite1で例外処理が発生し、os\_sigactがコールされ、core情報作成の

ためシステムコール関数(system)を発行するが、この関数中のsigsuspendの処理で止まっている

＜バクトレース＞

#0 0x400509e6 in \_\_sigsuspend (set=0xbffebb00)　＜―― ここで止まったようにみえる at ../sysdeps/unix/sysv/linux/sigsuspend.c:45

#1 0x4017bd4d in \_\_pthread\_wait\_for\_restart\_signal (self=0x401855a0) at pthread.c:1006

#2 0x4017dbcb in \_\_pthread\_alt\_lock (lock=0x40151120, self=0x0) at restart.h:34

#3 0x40179fbe in \_\_pthread\_mutex\_lock (mutex=0x40151110) at mutex.c:120

#4 0x4009daa1 in ptmalloc\_lock\_all () at malloc.c:1624

#5 0x4017a81e in \_\_fork () at ptfork.c:74

#6 0x4006fffb in \_\_libc\_system (line=0xbffec280 "/usr/bin/gcore -f -o moa000\_core 13064")

at ../sysdeps/posix/system.c:93

#7 0x401f32b1 in os\_sigact (signum=11) at /usr/rev/TRADE/src/os\_sigact.c:341

2. osdesprを発行したプロセス：

ダンマリになったプロセスに対してosdesprを発行し、正常終了した。

[ 結論 ]

osdespr( )でプロセスが終了しない件はoswrite1を発行した後プロセスがsigsuspendで止まっているため、osdespr()を発行するシグナル(SIGTERM)が受信できないため、ダンマリになったプロセスを強制終了させることができなかった